地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	和歌山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	和歌山市文化遺産活用活	舌性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度
4 実施計画期間	平成 23 年度	~ 平成 33	年度

5 実施計画の概要

和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を 推進するため、岩倉流泳法・岡崎団七踊り・和歌祭の後継者養成事業を実施し、それに伴い必要となる 用具等整備事業を実施する。

6 実施体制

和歌山市教育委員会が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。また補助事業は次の団体が実施する。

和歌山市文化遺產活用活性化事業実行委員会

構成団体 : 和歌山市教育委員会

特定非営利活動法人WISC(「岩倉流泳法」関係団体)

岡崎団七踊保存会 和歌祭保存会

7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

8 補助事業の概要 (1) 補助金額 ~平成30年度交付決定額: 42,761 千円 平成31年度申請額: 990 千円

(2) 実施事業の概要 別紙②のとおり

9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

和歌山市の文化遺産に係る情報発信を積極的に行うことで、地域の文化遺産に対する関心が向上し、 同時に人材育成を行うことで、継続的に文化遺産に対する関心を維持していくことができる。

また無形文化財や伝統文化の後継者育成を行うことで、地域の文化遺産の質を保ちつつ、地域の帰属 意識を高め、将来に継承していくことができる。

それらにより、文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を行い、さらに和歌山市全体の文化遺産に対する意識を高めることにより、対外的な観光資源としての活用も期待できる。

10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)

平成30年度から実施の「和歌山市歴史的風致維持向上計画」事業の一つである、伝統文 事業概要: 化・民俗芸能を普及啓発するための次世代の担い手育成事業を、社会資本整備総合交付 金で行う。

事業概要:

和歌山大学紀州経済史文化史研究所が「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」 で和歌祭の普及啓発や後継者養成を申請予定のため、これと連携・協力していく。

事業概要:

11「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成30年3月「和歌山市歴史的風致維持向上計画」認定

12 担当部局

地方公共団体 和歌山市 文化振興課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	伝統文化の継承体制の維持・確立										
評価指標区分1:	祭礼行事~	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)						IJ)			
具体的な指標1:	岩倉流泳 住民数	岩倉流泳法保存会・岡崎団七踊保存会への参加 関連事業: 住民数									
目標値1:	【現状値】	平成 2	3 年月	度 101	(単位) =	⇒ 【目標	直】 平成	え 33 年	度 1	.25	(単位)
設定根拠1:				(地域児童類 ある。今後					人数1 うきたい		() D
進捗状況 1:	80~85%の参加者がある。今後も85%以上の参加率を維持して行きたい。 各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30	年度	平成	31 年度	平成 3	2 年度	平成	33 年度	平成	34	年度
(単位)		(単位)		(単位)		(単位)		(単位)			(単位)
目標区分2:	伝統文化0)継承体制	削の維持	・確立							
目標区分2:	伝統文化の 祭礼行事へ			• 確立			(,	具体的な指標	漂は次0	のとお	Ŋ)
		への参加化	主民数	・確立		İ	(. 関連事業		漂は次 <i>0</i>	りとお	Ŋ)
評価指標区分2:	祭礼行事へ和歌祭へ	の参加住の参加住	主民数		(単位) =	→ 【目標	関連事業	;:		のとお 000	り)
評価指標区分2: 具体的な指標2:	祭礼行事~和歌祭~【現状值】	への参加伯 の参加伯 平成 3 宮創建・	主民数 三民数 1 年 和歌祭		月 (202	⇒ 【目標: 2 1 · 2 ·	関連事業	艾 33 年	度 1,	000	(単位)
評価指標区分2: 具体的な指標2: 目標値2:	祭礼行事~和歌祭~【現状值】	への参加伯 の参加伯 平成 3 宮創建・	主民数 三民数 1 年 和歌祭	度 1,000 {400周 ^を 経承体制の線	月 (202	⇒ 【目標 2 1 · 2 (込む。	関連事業 直】 平成	:: え 33 年 に向けて <u>1</u>	度 1,	000	(単位)
評価指標区分2: 具体的な指標2: 目標値2: 設定根拠2:	祭礼行事~和歌祭~【現状值】	への参加伯 の参加伯 平成 3 宮創建・ ているた	主民数 三民数 1 年 和歌祭	度 1,000 {400周 ^を 経承体制の線	F(202 <u>推持を見込</u> 状況値 , E	⇒ 【目標 2 1 · 2 (込む。	関連事業 直】 平成	:: え 33 年 に向けて <u>1</u>	度 1,	000	(単位)
評価指標区分2: 具体的な指標2: 目標値2: 設定根拠2: 進捗状況2:	祭礼行事へ和歌祭へ 【現状値】 紀州東照を予定し	への参加化 の参加化 平成 3 宮創建・ ているた	主民数 三民数 1 年月 和歌祭	度 1,000 {400周 ^を 経承体制の編 各年度,	F (202 推持を見込 状況値 , 目	→ 【目標 2 1 · 2 · 込む。 目標に対す	関連事業 直】 平成 0 2 2)	:: え 33 年 に向けて <u>1</u>	度 1,	000	(単位)

様式1-1別紙②

8(2) 実施事業の概要 別紙

事業①: 文化	遺産総合活用推進	事業	実施団体:	和歌山市文化遺産活用	活性化実行委員会		
事業区分:	後継者養成		事業期間:	平成 23 年度 ~	平成 33 年度		
事業概要:	和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く 地域の活性化を推進するため、岩倉流泳法・岡崎団七踊の後継者養成事業を実施する。						
評価指標区分:	・保存会への新規入会者数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標:	: 岩倉流泳法保存会・岡崎団七踊保存会への参加住民数						
目標値 : 【現状値】 平成 23 年度 101 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 125 (単位)							
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年月	変 平成 33 年度	平成 34 年度		
(単位	(単位)	(単位)	(単位	位) (単位)	(単位)		
事業②: 文化遺産総合活用推進事業 実施団体: 和歌山市文化遺産活用活性化実行委員会							
事業区分	用具等整備		事業期間:	平成 30 年度 ~	平成 35 年度		
和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く 事業概要: 地域の活性化を推進するため、和歌祭の後継者養成事業を行い、それに必要な用具等整 備事業を実施する。							
評価指標区分:	- 分: ・祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標:和歌祭の祭礼行事への参加住民数の維持							
目標値:	【現状値】 平成	80 年度 10,000	(単位) → 【目	標値】 平成 33 年	连度 10,000 (单位)		
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率							
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年月	変 平成 33 年度	平成 34 年度		
(単位	(単位)	(単位)	(単位	立) (単位)	(単位)		